

2024年度

## 【学校推薦型選抜〈併願型〉(1日目)】

## 基礎素養検査

## 2 限 目

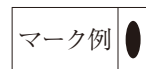
## 注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 不正行為を行った場合は、本学の選抜日程全ての成績を無効とします。
3. 問題冊子は1部、解答用紙は2枚です。なお、解答用紙は、「国語」用の『解答用紙①』と「理科」用の『解答用紙②』の2種類があります。解答用紙は、試験終了後に2枚とも提出いただきますので、2枚ともに受験番号欄に記入およびマークしてください。
4. 出題科目、ページおよび選択方法は、下表のとおりです。

出題科目		ページ	選択方法
理科※	物理基礎	1～4	解答科目は、選択できる科目を受験票で確認のうえ、選択しなさい。
	化学基礎	5～8	
	生物基礎	9～13	
国語	国語1～国語11(うしろから始まります)		

※理科については、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目選択し、解答してください。解答する科目の順番は問いません。解答時間(60分)の配分は自由です。

5. 解答は全てマークセンス方式です。マークは黒鉛筆(シャープペンシル可)で右の例のように正しくマークしてください。



6. 解答用紙には解答欄のほかに次の記入欄があります。

## (1) 受験番号欄

『解答用紙①』および『解答用紙②』の2枚ともに、受験番号を受験番号欄の上欄に算用数字で記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。

## (2) 解答科目選択欄

## ①「国語」を解答される方

『解答用紙①』の解答科目選択欄について、「解答をする」のマーク欄にマークするとともに、解答する科目を○で囲み、さらにその下のマーク欄にマークしてください。

## ②「理科」を解答される方

『解答用紙②』の解答科目選択欄について、「解答をする」のマーク欄にマークするとともに、解答する科目(2科目)を○で囲み、さらにその下のマーク欄にマークしてください。

※受験番号および解答した科目が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

7. 記入したマークを訂正する場合は、プラスチック製消しゴムで完全に消し、改めてマークしてください(消しくずを残さないこと)。
8. 解答用紙は折り曲げたり、汚したりしてはいけません。
9. 解答用紙の※印欄はマークしてはいけません。
10. 問題冊子と解答用紙にページの落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所や汚れなどがある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

# 国語

(解答番号)

(1)

(47)

I

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(六〇点)

あるテキストの統一性は、テキストの起源ではなく、テキストの宛て先にある。(中略) 読者の誕生は、「作者」の死によってあがなわれなければならないのだ。

(ロラン・バルト「作者の死」、『物語の構造分析』花輪光訳、八九頁)

一九六〇年代にフランスの批評家ロラン・バルトが提唱した「作者の死」は、批評において大変重要な概念です。聞いた感じは I ですが、簡単に言うと、フィクションでは「この作品における作者の意図は何か」みたいなものを気にする必要はないということです。作者がいなくなるところから読者の自由な読解が始まるということですね。

<sup>1</sup> 作者というものは自作のテキストに権力を及ぼし、解釈を統制する存在であると考えられがちですが、そうではありません。私は大学の授業で、何か一作、作品を選んで問いを立てて分析するようにという課題をよく出すのですが、やたらと作者が何を伝えたかったのかを問おうとする学生がけっこういます。作者が作品をコントロールしているというゲンソウ<sup>A</sup>は広く存在しているのですが、冷静に考えるとそうではないことがわかります。

まずは表現技術の<sup>B</sup>コウセツの問題があります。 A、つまらないものを書くかと思つて執筆をする作者は誰もいませんが、<sup>2</sup>駄作は世の中にもたくさん存在します。作者がいくら自分つまらないものを書くつもりはなかったと自己弁護しても、つまらない作品が作者の意図によって面白くなることはありません。学校や職場で良いレポートを書くかと頑張ったのにうまくできなかったというような経験がある人は多いと思いますが、芸術作品を作る時にもそういうことがしょっちゅう起こります。

テキストはそれを生み出した時代の社会に<sup>3</sup>根ざしたものだということに注意する必要があります。作者が意識していなかったバイアスや社会的背景などが反映されており、それが読み取れることがあります。日常生活でうっかり偏見に基づいた発言をして人を傷つけたり、逆に何も考えずに言ったことで

とても相手に喜んでもらえたりすることがあるかと思いますが、こうした事態は発言をした人の意図とは関係なく起こることです。

よく、差別発言を批判された人が「差別の意図はなかった」と自己弁護することがありますが、差別発言はもちろん、社会的に問題があると見なされるような発言のほとんどは無意識に人々が身につけている偏見や思い込みに起因するもので、発言する人が意図していない状態で起こります。フイクシヨンの作品においても日常のコミュニケーションと同様、作者の意識に明確にのぼっていないものが見てとれるということがあります。犯人が犯罪現場にうっかり手がかりを残してしまうのと似たようなものですね。

そもそも作者とは誰なのかという問題もあります。ひとりしか作者がいらないと考えられているテキストでも意外とそうではないことがあります。たとえば学校のレポートをひとりで書いたとしても、指導を担当した教員や授業でディスカッションしたクラスメイトなどから影響を受けているはず。作品の場合、だいたい「作者」として人々がイメージするのが小説家や詩人なので、家にこもって著作を書く孤独な天才……みたいな像が浮かんでしまうことも多いと思うのですが、商業的にカンコウされたものであれば編集者がかかわっているのが普通です。舞台芸術なら演出家や役者、スタッフがいるはずですし、ハリウッド映画になるとスタッフは数百名にのぼります。もちろん特定の劇作家とか映画監督について背景を調べたり、複数の作品を見たりして「作家性」を分析することは可能なのですが、少なくともひとつの作品についてクリエイティブコントロールを持つ「作者」を想定するのはあまり適切ではないことも多くなっています。

古い作品だと作者が不明だったり、後世の人の手が加わっていると考えられたりするテキストも存在しています。私がふだん大学で教えているシェイクスピアについては、よく「シェイクスピアはこの作品で何を伝えたかったのか」というようなテーマ設定を考えてくる学生がいるのですが、これは正直、あまり適切ではありません。B、シェイクスピアは劇団の座付き作者で、リチャード・バーベッジという看板役者をはじめとする専属俳優たちを抱えていました。それぞれのギキョクにはシェイクスピアの意向だけではなく、大スターをはじめとする劇団メンバーたちの仕事の事情がかかわっており、共同作業の成果が活かされているはず。さらにシェイクスピアの時代は劇作家同士で共作することが盛んで、後から別の作家が台本に付け足しをするというようなこともありました。

こうなってくると、「作者は何を伝えたかったのか」みたいな問いの立て方をすると、固定できるのかもよくわからない「作者」を孤独な天才のような形<sup>5</sup>でまつりあげてしまう方向に行きやすくなる危険があります。それよりは、「作品が何を表現しているのか」みたいな問いを立てたほうがはるかに分析しやすくなります。

基本的に作品は世に出た瞬間、作者の手を離れるものだと考えてください。異なった文化的背景を持ついろいろな受け手が作品を受容し、違う解釈を作り出すところに批評のIIがあります。解釈は受け手が自由に行って良いものであり、優れた批評は作者が考えてもいなかったような斬新な

解釈を引き出すことができます。あなたの手元にわたった瞬間から、テキストはあなたのものです。作者のコントロールを打ち破ってください。

<sup>6</sup> 作者に死んでもらうのにあたり、ひとつ注意すべきことがあります。作品の種類によって「作者」と「語り手」をどの程度同一視していいかが異なってくるのです。フィクションの哲学の研究者である清塚邦彦は、「ごっこ遊びの概念を作者にも応用し、フィクションを読む時には作者もごっこ遊びの輪に入っている」、読書は「架空の語り来接する架空の経験」(『フィクションの哲学』一六五頁)となり、「語りが作者から遊離する」(一六三頁)ことが起こると指摘しています。

C

、基本的にフィクションを分析する場合は作者と語りを切り離して考えたほうがよいということになります。

一般的にはそうなのですが、一方で完全にそうとも言い切れないものも存在します。文学作品であっても随筆、日記、紀行文の類は作者が自分の考えや体験を書くもので、作者と語り手は比較的同一性が高く、語り手に起こったことはだいたい作者に起こったことだと考えてよいことが多いでしょう(女性の語り手を作って『土佐日記』を書いた紀貫之のように、たまに手の込んだ自己演出をする作者もいるので、  
III ですが)。  
D  
これが詩(俳句や短歌を含む)やいわゆる私小説、またミュージシャンの自作曲などになると、どのくらい作者と作品の語り手を同一視していいのが微妙になってきます。

たとえばテイラー・スウィフトが作った歌は皆がスウィフトの人生に関係していると考えており、作者本人も自作がかなり個人的な内容であることをいろいろなところで認めています。

E

、デヴィッド・ボウイは個人的なことも歌いますが、特定の世界観を設定してお話を

IV

ような曲も得意としているので、自作曲を歌っているからといって歌の語り手や主人公と作曲者を同一視していいわけではありません。シェイクスピアはソネットをたくさん書いていますが、これなどはどのくらい個人的体験に基づいて、どのくらいが虚構なのかよくわかりません。

作品ごとにニュアンスが変わってくるので一概には言えませんが、私はかなり個人的な内容を描いていると思われる作品であっても、一応は作者に近いがある程度虚構化された存在として「語り手」という登場人物を設定しています。個人的な体験であっても芸術家が作品に  
V  
時はある程度の物語として再構成が行われるはずなので、詩や歌、私小説的な作品の語り手は作者に近くとも微妙に違うキャラクターとして考えたほうが処理しやすいことが多いでしょう。

歴史というのは、(中略) ぼくがなんとか目を覚ましたいと思っっている悪夢なんです。

(ジエイムズ・ジョイス「ネストル」、『ユリシーズ』丸谷才一他訳、九〇頁)

「作者には死んでもらうようにしましょう」と言いましたが、実は作者を完全に抹殺してしまうとまずいことがあります。「作者の意図」を気にして解



積する必要はないのですが、一方でテキストが生まれてきた歴史的背景についてはある程度理解しておかないととんでもない誤解をしまったり、そもそも内容がよくわからなくなったりしてしまうことがあります。テキストというものは、そのテキストが生まれた文化や歴史的状况と密接に結びついていることは忘れてはなりません。対象となるテキストの歴史的背景を押さえておくというのはなかなか大変で、付け焼き刃ではすまないレベルの勉強が必要なのですが、とにかく歴史はどんなテキストにでもいつでも悪夢のようにつきまといまいます。逃れることはできません。

たとえば、アメリカのサザンロックのバンドであるレーナード・スキナードが一九七四年に発表した歌「スウィート・ホーム・アラバマ」の歌詞を見てください。ギターのリフが印象的な曲ですが、歌詞のほうはおそらく歴史的背景を知らないで全くわかりません。いきなり「ニール・ヤングは、南部男（A Southern man）が自分のことなんて必要としないと／思い出してくれりゃあいいと思うよ」とか「バーミングハムでは知事は好かれてる」とか、説明なしに何か時事的言及らしいものが出てきます。これは、この曲が革新的な政治運動を支持しているカナダのミュージシャンであるニール・ヤングがアメリカ南部の人種差別や保守性を批判した歌である「サザン・マン」（Southern Man、一九七〇）や「アラバマ」（一九七二）に対するアンサーソングとして作られているからです。

レーナード・スキナードはアメリカ南部のバンドで、奴隷制度や人種差別主義と結びつけられがちな南部連合旗（二一世紀にはすっかり白人至上主義者のシンボルになりました）をステージで使用するなど、物議を醸すようなやり方で南部に対する郷土愛を常に示していました。歌詞に出てくる知事というのは人種隔離政策で悪名高いポピュリスト政治家のジョージ・ウォレスです。この曲はなかなか解釈が難しく、「バーミングハムでは知事は好かれてる」の後に「ブー！ ブー！ ブー！」というブーイングだか掛け声だかよくわからない VI が入り、「今やオレたちはみんなできることはやってたけどな」という歌詞が続きます。全体的にこの曲は一見シンプルそうながらも独特のノリが必要なりフにこういう曖昧さのある歌詞が絡み、単純に解釈していいのか何か複雑な感情があるのかわからない雰囲気<sup>10</sup>を醸し出しています。この歌詞をウォレスに対する批判とするか、諦めとするか、承認とするかは受け手に委ねられるところですが、少なくともこの知事がウォレスだということを理解しなければその議論すらできません。

文芸批評の分野では一九八〇年代頃から、テキストをそれが生まれた時代の権力関係の中に位置づけることを重視する新歴史主義という動きが広がりました。新歴史主義批評は文学的テキストを政治とか宗教なども含めた他のテキストとの関係で位置づけることを重視するため、有名でないものも含めてたくさんさんのテキストを読む必要があるのでスキイ<sup>E</sup>が高く、かなり専門家向けコースです（たとえば私の専門はシェイクスピアですが、博士論文を書いていた時は、一八世紀にシェイクスピアの編纂事業<sup>へんさん</sup>に携わった全く無名の人たちの埋葬やら結婚やらの記録まで調査する必要がありました）。さらに新歴史主義批評の内部でも、立役者<sup>11</sup>と言えるステイヴン・グリーンブラットは意外と新歴史主義特有のものとしてされる特徴を備えていないなど（新歴史主義批評はあまり時代を超える文学的価値みたいなものに関心を示さないことが多いのですが、グリーンブラットは価値を生み出す才能とか技巧に比較的こだわる批評

家です)、いろいろ手法の相違があり、なかなかとらえづらいものになっています。

しかしながら、テキストを社会背景の中で考えるといふ手法は現在では精読とともに批評研究では必須の手法のひとつとなっています。精読だけで社会背景を調査しないとよく意味がわからない場合も多いですし、一方で精読なしに社会背景だけ見ると結局、誤解が発生して薄っぺらい読解しかできないことにもなり得ます。精読と背景の調査は批評における VII のようなもので、どちらも大事であり、お互いに補いあうようなものだと考えたほうがよいでしょう。

(北村紗衣『批評の教室』より。ただし出題の都合上、表現を一部改めた箇所がある)

問一 二重傍線部A～Eのカタカナを漢字で書いたときに、その漢字と同じ漢字をふくむものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A ① 思想をタイゲンした作品

(1)

D ① ギコブン調の小説

(4)

② ゲン直し

② 幼稚園のユウギ会

③ ゲンエイにおびえる

③ ジツギ試験

④ ゲンチをとる

④ ジギを得た発言

⑤ ゲンカイ集落

⑤ ギギをただす

B ① チセツな文章

(2)

E ① 感情イニユウ

(5)

② コンセツ丁寧

② キヨウミホンイ

③ 外国のシセツ団

③ イの中の蛙大海を知らず

④ 自然のセツリ

④ ホウイモウを張る

⑤ 鉄道をフセツする

⑤ イアイの達人

C ① 小説をダッコウする

(3)

② コウ成り名を遂げる

② ホウイモウを張る

③ ジュンコウミサイル

③ イアイの達人

④ コウクンを唱える

④ ホウイモウを張る

⑤ 志賀直哉の『アンヤコウロ』

問二 空欄 I に入れるのに最も適当なことを、次の各群の ①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- |        |                            |                           |          |                            |                            |
|--------|----------------------------|---------------------------|----------|----------------------------|----------------------------|
| 空欄 I   | ① 物騒                       | ② 無粋                      | ③ 大上段    | ④ 至言                       | ⑤ 曖昧                       |
| 空欄 II  | ① 外連味 <small>けれん</small>   | ② 真実味                     | ③ 人間味    | ④ 醍醐味 <small>だいご</small>   | ⑤ 野性味                      |
| 空欄 III | ① 割に合わない                   | ② 眉唾物 <small>まゆつば</small> | ③ 油断は禁物  | ④ 画餅 <small>がべい</small>    | ⑤ 痛しかゆし                    |
| 空欄 IV  | ① 模する                      | ② 盛る                      | ③ 解きほぐす  | ④ 紡ぐ                       | ⑤ 繕う                       |
| 空欄 V   | ① 捏造する <small>ねつぞう</small> | ② 転嫁する                    | ③ 昇華させる  | ④ 上梓する <small>じょうし</small> | ⑤ 膾炙する <small>かいしや</small> |
| 空欄 VI  | ① 邪魔                       | ② お囃子 <small>はやし</small>  | ③ 相づち    | ④ 茶々                       | ⑤ 合いの手                     |
| 空欄 VII | ① 双壁                       | ② 天秤 <small>てんびん</small>  | ③ コインの裏表 | ④ 車の両輪                     | ⑤ 両刃の剣 <small>もうは</small>  |

問三 傍線部 I 「作者というものは……そうではありません」とあるが、筆者はこのことについて、どのようなことを述べているか。その内容として、適当ではないものを、次の ①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① つまらない作品を作ろうとする作者はいないが、作者の意図に反して、作品がつまらないものになってしまうことは、頻繁にある。
- ② 出版された小説や舞台芸術などの作品は、編集者や演出家、役者、スタッフが関与しており、特定のひとりを「作者」に固定できるものではない。
- ③ 作品には、作者が生きていた時代の文化的な背景が反映されているため、異なる時代に生きる読者は、作者が意図した解釈にたどりつけない。
- ④ 古い作品では、作者が不明だったり、作家同士が共作をしていたり、後に別の作家による付け足しなどが行われたりすることもある。
- ⑤ 作品からは、作者自身が明確に意識していないような、偏見や思い込み、社会的背景が反映された内容も、読み取れることがある。

問四 空欄 A に入れるのに最も適当なことを、次の各群の ①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- |      |         |        |         |        |          |
|------|---------|--------|---------|--------|----------|
| 空欄 A | ① しかも   | ② たとえば | ③ というのは | ④ だから  | ⑤ つまり    |
| 空欄 B | ① もちろん  | ② すなわち | ③ しかし   | ④ となれば | ⑤ というのも  |
| 空欄 C | ① そのうえ  | ② かえって | ③ なぜなら  | ④ それでも | ⑤ つまり    |
| 空欄 D | ① したがって | ② ところが | ③ とすると  | ④ もちろん | ⑤ 言い換えれば |
| 空欄 E | ① 一方    | ② それゆえ | ③ だからこそ | ④ とすれば | ⑤ そこで    |

(18) (17) (16) (15) (14)

問五 傍線部2「駄作」、傍線部3「根ざした」、傍線部4「フィクションの」、傍線部5「まつりあげてしまう」、傍線部8「付け焼き刃」、傍線部9「物議を醸す」、傍線部10「醸し出して」、傍線部11「立役者」の本文中の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

傍線部2

- ① 話題にも上らない作品
- ② 必要のない作品
- ③ 平凡な作品
- ④ 人気のない作品
- ⑤ 出来の悪い作品

傍線部3

- ① 生み落とされた
- ② 定められた
- ③ 受け継がれてきた
- ④ 基づいた
- ⑤ もともと存在した

傍線部4

- ① 作り事の
- ② 取材をもとにした
- ③ 歴史ものの
- ④ 未来を描いた
- ⑤ 実話に基づいた

傍線部5

- ① 架空の存在としてしまう
- ② 絶対的な権力者としてしまう
- ③ 尊んで崇<sup>あが</sup>めてしまう
- ④ 現存するかのように扱ってしまう
- ⑤ 実際以上の高評価を与えてしまう

傍線部8

- ① 間に合わせのわか仕込み
- ② 物好きな素人の独学
- ③ 本を読んだだけの浅はかな知識
- ④ 目的の曖昧な見切り発車
- ⑤ よくできたまがいもの

傍線部9

- ① 世間の議論を引き起こす
- ② 一斉に非難を浴びる
- ③ 大きな話題になる
- ④ 同業者が眉を擧<sup>ひそ</sup>める
- ⑤ 大勢が反対する

傍線部10

- ① 鮮明に映し出して
- ② そここに感じさせて
- ③ それとなく作り出して
- ④ 全体にみなぎらせて
- ⑤ 暗に示して

傍線部11

- ① 中心となって活躍している人
- ② 最も有名になった人
- ③ 土台を完成させた人
- ④ 最初に取り組んだ人
- ⑤ 発展に大きく寄与した人

(26)

(25)

(24)

(23)

(22)

(21)

(20)

(19)



問六 傍線部6「作者に死んでもらうのにあたり、ひとつ注意すべきこと」とあるが、筆者は、「注意すべき」点について、どのように考えているか。その説明として、最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

(27)

① 作者の個人的な体験が題材となつていても、物語として再構成されるときには、作者本人とは微妙に違うキャラクターの語り手でなければ、物語は成立しないと考えている。

② 作者の個人的な内容を描いていると思われる作品でも、作者に近いが、ある程度虚構化された「語り手」という登場人物を設定したほうがよいと考えている。

③ ミュージシャンの自作曲は、作者本人が個人的な内容の歌だと認めていても、特定の世界観が設定されていることもあるので、歌の語り手と主人公は同一視できないと考えている。

④ 文学作品のなかでも、随筆、日記、紀行文の類は、作者が自分の考えや体験を書くものだが、作者と語り手を同一視することには、問題があると考えている。

⑤ 清塚邦彦が言うように、特にフィクションを分析対象とするときは、作者と語り手を完全に別人として解釈したほうがよいと考えている。

問七 傍線部7「テキストというものは、……忘れてはなりません」とあるが、筆者は、このことについて、どのようなことを述べているか。その説明として、最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

(28)

① 批評研究に取り組む際、基本的には作品の精読を中心にすべきだが、作品の一部に、作者の政治的立場や、宗教観が反映されている箇所がある場合には、その作品が作られた当時の社会背景を詳しく調べなければならない。

② 作品の精読を通して読み取れる作者の意図を重んじるあまり、歴史や当時の文化、政治や宗教などの社会背景を軽視する手法が長く主流だったが、新歴史主義批評では、社会背景を考慮に入れることも必須である。

③ テキストについて、歴史や当時の文化、政治や宗教などの社会背景を調査し、考えることと、誤解を含む浅薄な解釈にならないようにテキストを精読することは、どちらも現在の批評研究では必須の手法である。

④ 現代の批評研究では、テキストの解釈において、作者の意図はまったく考慮しなくてよいが、基本的な内容を理解するためには、歴史や当時の文化、政治や宗教などの社会背景を多少は理解しておかなければならない。

⑤ 作品に描かれた政治的な批判には、作者の個人的な見解が色濃く反映されているので、作者の意図の正確な理解を求める場合には、歴史や当時の文化、政治や宗教などの社会背景を客観的に調査しなければならない。

II

次の問いに答えなさい。(四〇点)

問一

AとCの [ ] に入れるのに最も適当な漢字を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A 仕事の相 [ ]

- ① 某
- ② 坊
- ③ 棒
- ④ 房
- ⑤ 傍

B 威 [ ] を正す

- ① 疑
- ② 義
- ③ 儀
- ④ 偽
- ⑤ 議

C 黄梁一 [ ] の夢

- ① 推
- ② 水
- ③ 炊
- ④ 睡
- ⑤ 粹

[31]

[30]

[29]

問二

AとCの熟語の読みとして適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A 押印

B 破綻

C 返戻金

- ① オウイン
- ② オシイン
- ③ オンイン
- ④ オイン

- ① ハテイ
- ② ハジヨウ
- ③ ハツテン
- ④ ハタン

- ① ヘンボウキン
- ② ヘンレイキン
- ③ ヘンジョウキン
- ④ ヘンサイキン

[34]

[33]

[32]

問三

AとCの語の対義語として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A 緩慢

B 定例

C 幼稚

- ① 最速
- ② 敏速
- ③ 早速
- ④ 加速
- ⑤ 拙速

- ① 暫定
- ② 随時
- ③ 緊急
- ④ 前例
- ⑤ 臨時

- ① 老体
- ② 古参
- ③ 玄人
- ④ 年長
- ⑤ 老練

[37]

[36]

[35]

問四 傍線部の語の使い方が適当なものを、次の①～⑦の中から二つ選びなさい。

- ① 投機的な事業      ② 悲壯浅薄      ③ 動きに精細を欠く      ④ 既得な行い  
⑤ 責任を添加する      ⑥ 交歓会を催す      ⑦ 衆人監視の状況

(38)

(39)

問五 A～Cの慣用句の意味の説明として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A 快刀乱麻

- ① 複雑な問題を、誰もが納得するように解決すること。      ② 難しい問題を、鮮やかに処理すること。  
③ 誰もが手こずっていた問題を、簡単に解決すること。      ④ 一人だけで多くの敵を簡単に倒してしまうこと。  
⑤ 誰にも頼らず、一人ですべての問題に対処すること。

(40)

B 電光石火

- ① 双方が激しく衝突すること。      ② 一気にすべての力を放出すること。  
③ 誰も気づかないうちに終わらせること。      ④ 勢いが、このうえなく盛んなこと。  
⑤ 動作などがとても素早いこと。

(41)

C 馬耳東風

- ① 周りからの忠告や助言に、ことごとく反抗すること。      ② 聞いても理解できないことを、延々と聞かされること。  
③ 話を聞いたそばから、内容を忘れていくこと。      ④ 人から何を言われても、心に響かないこと。  
⑤ 人の意見や批判を気にも留めず、聞き流すこと。

(42)

問六 例文A～Cの傍線部と意味用法が最も近いものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

例文A 疑いをかける。

- ① 練習に時間をかける。
- ② 命をかけて誓う。
- ③ 迷惑をかける。
- ④ 右足に体重をかける。
- ⑤ シャツにアイロンをかける。

(43)

例文B ミスさえしなければ合格するだろう。

- ① こちらを見ようとさえしない。
- ② 大人さえもがゲームに夢中だ。
- ③ 子どもさえ分かる問題だ。
- ④ 食べる物さえあれば生きていける。
- ⑤ 雨にさえ風さえ吹いてきた。

(44)

例文C 失敗を防ぐには十分準備することだ。

- ① 今さらそんなことを言われても。
- ② 困ったことになった。
- ③ 明朝九時に集合のこと。
- ④ とにかくゆっくり休むことだ。
- ⑤ 息子のことをよろしく頼む。

(45)

問七 傍線部の敬語の使い方が誤っているものを、次の①～⑦の中から二つ選びなさい。

- ① 来月は、一週間ほど海外に参る予定です。
- ② 先生は、後ほど召し上がるそうだ。
- ③ 弊社の担当者は、後ほどお見えになります。
- ④ お目にかかることができ、大変光栄でございます。
- ⑤ あちらの受付にて、ご用件をうかがいます。
- ⑥ 現金以外のお支払方法は、ご利用になれません。
- ⑦ これは、著名な先生が申されたことです。

(46)

(47)

#### ご注意

1. 本書の一部あるいは全部について、発行者の許可を得ずに、無断で複写・転写することは禁じられています。
2. 本書の内容に誤り・誤字脱字などございましたら、ご連絡いただくと幸いです。

---

2024/6/1

発行・制作:広島国際大学入試センター

連絡先:739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台555-36

TEL: 0823-70-4500 FAX: 0823-70-4518

Mail: HIU.Nyushi@josho.ac.jp

URL: <https://www.hirokoku-u.ac.jp/>

Copyright © 2024 Hiroshima International University, All rights reserved.

---